

序

外科系診療科をローテートしている研修医の先生たちから、“手術中は、何をやっているかわかるところは「へーこんな感じなのか」と楽しいけれども、わからなくなってくると正直ちょっと退屈です”というような意見を聞きます。

せっかく手術室に入って直に勉強できる機会なので、なんとかわからないところを減らして、積極的に学べる楽しめる外科研修をうけてもらえないかと考えているのですが、手術をしながら術中に細かく説明をするのにはやはり限界があります。かといって手術書を見てもらっても、内容が専門的すぎて、手術の大きな流れやイメージをつかんでもらうのが難しいため、何かわかりやすく手術の流れ・内容をわかってもらえるような本があればよいのになぁと思っていました。

そこで、本書では各診療科の代表的な手術に関して、

- ・何をどこで切るのか
- ・どこをどのように縫うのか
- ・手術全体のイメージはどうなっているのか

という基本的なことを、イラストをふんだんに用いて簡単にわかるようにしていただきました。

加えて、手洗いや皮膚縫合など研修医の先生たちが実際に行う基本的な手術手技や、外科医がこだわっているコツなど外科系診療科を希望する先生にも満足してもらえるハイレベルな内容も含まれています。

ぜひこの一冊を手にして、手術のイメージをしっかりともち、楽しい手術研修を送ってほしいと思います。そして、将来外科系に進む研修医の先生が少しでも増えてくれれば本当に嬉しいです。

最後に、編者の思いつきのコンセプトをしっかりとした形にいただいた先生方、編集部の方々に深く感謝します。どうも有難うございました。

2015年10月

国立病院機構京都医療センター外科
畑 啓昭